

第51号 C-STEP ニュース

シーステップ 人間を主役にした人材雇用開発



2020年度C-STEP通常総会が開催されました 会員の皆さまとともに — 理事長ごあいさつ&メッセージ —

一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 理事長 井上 龍生

冒頭にあたり、今回の新型コロナウイルスでお亡くなりになった皆さま、ご遺族の皆さまに心よりお悔み申し上げます。また、罹患され大変な状況でご入院・自宅待機等をされた皆さまにもお見舞い申し上げます。また、現在もお数多くの医療従事者・医療関係者の皆さまが、ご自身の命の危険・リスクの瀬戸際でその職務を務めていらっしゃる事、併せて、そのご家族や関係者の皆さまにも敬意と感謝を申し上げます。

さて、大阪府は4月7日に「改正新型インフルエンザ対策特別措置法」に伴う緊急事態宣言対象に指定されておりましたが5月21日に解除されました。再度の指定回避に向け、今後の感染拡大予防の観点から当センターとしても引き続きの感染防止、終息に向けて鋭意取り組んでまいる所存です。

そうしたことから、2020年度通常総会は、一般社団法人財団法人法に基づき『総会への参加人数を極力少数化して開催』することを5月14日に開催した2020年度第1回理事会で決定し、併せて、ご来賓の皆さまのご招聘を断念、そして、第13期・第14期評価・顕彰システム検討委員会が開催中止(4月22日)になったことから、通常総会席上での「第13期会員貢献度評価顕彰(感謝状贈呈)」も中止することを含め、6月1日にすべての会員の皆さまにご案内させていただきました。

その趣旨をご理解いただき、多くの会員の皆さまから「書面議決書」をご提出いただきました。そして、6月23日に開催した2020年度通常総会にご出席いただいた皆さまのご協力もいただき、無事に総会開催の運びとなったことに感謝申し上げます。2020年度通常総会の議案ごとの議決状況等については次頁でご報告させていただきますが、2019年度の当センターの諸事業については、関係諸機関、そして全会員企業の皆さまのご支援・ご協力をいただき、一部の課題は残しつつも順調に遂行させていただきましたことに心から厚く御礼申し上げます。また、2020年度総会の第5号議案で「役員選任」についてもご承認いただき、引き続き開催された2020年度第2回理事会で理事長の重責を務めさせていただくことになりました。

さて、私たちを取り巻く状況は、国難とも言える今回の「新型コロナウイルス感染症」の収束見通しが見えないことから、社会・経済活動への甚大、そして長期にわたる影響が大変心配される所です。そうした中で、当センターの2020年度事業計画の遂行は、大変厳しい中での船出となることを覚悟しております。限られた陣容での事業計画遂行に際して、これまで同様、出来ればこれまで以上に関係諸機関、会員企業の皆さまのご支援・ご協力をお願いさせていただきます、皆さまとともに全力で邁進してまいります。

2020年度事業計画では以下の2点について新たに取り組みます。

■「一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センターあり方検討プロジェクトチーム」を設置(第6号議案:総会資料35~37P)。

当センターは1981年7月に設立され、2021年7月に設立40年を迎えます。この間、政治経済のみならず、人権政策、労働法制、社会保障制度等々、私たちを取り巻く諸環境も大きく変貌しています。このことから次の設立50周年も見据え、①会員の拡大・定着を図る、②雇用・労働情勢の変化に対応した新たな事業の可能性の検討を実施、③持続可能な組織づくりの検討等を目的とする。
(「設置要綱」、「委員」については総会資料をご参照ください)

■「C-STEP40周年事業運営委員会」を設置(第7号議案:総会資料48P)

当法人事務局内に「C-STEP40周年事業運営委員会」を設置し、これまでの40年間を振り返るとともに次なる50周年に向けて決意を新たにす記念事業を2021年度に実施します。(2021年度通常総会で提案)

最後に、今回の新型コロナウイルス感染症に対して、まずは『命と健康。そして企業経営と暮らしを守る』ことにしっかりと軸足を置きながら、『このピンチ(クライシス)をチャンスに!』のアンテナを張り巡らせとともに頑張ってください。

この決意をもって、2020年度の理事長ごあいさつとさせていただきます。

2020年度 通常総会 開催報告

2020年度C-STEP通常総会が、6月23日(火)大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)で、開催されました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府や大阪府による自粛要請を受け、参加者数を最少人数(事前予約制)とさせていただきます。また、来賓のみなさまにつきましても今年度は招聘を見送らせていただきました。なお、役員10名(理事8名、監事2名)は全員出席しました。

各議案につきましては、一般社団法人法に基づき、当日出席者と事前提出いただいた書面議決書による賛否で採決しました。詳細につきましては、次のおりご報告します。



井上龍生理事長からの開会あいさつの後、株式会社栗本鐵工所の四方一郎さんが議長に選出され、通常総会の議案審議に入りました。冒頭、四方議長から、2020年6月1日現在の会員総数918の内、本日の出席数11、書面議決書提出数661の合計672会員の出席があり、過半数(459会員以上)を超える出席を得ており、本総会が有効に成立しているとの報告がありました。

第1号議案の「議事録署名人名選任」の後、第2号議案「2019年度事業実施報告」、第3号議案「2019年度決算報告」、第4号議案「2019年度監査報告」を一括して提案・報告を行い、第2号議案から第4号議案まで全議案とも満場一致で可決、承認されました。なお議長は、事前に提出された書面議決書の総数661票の内、第2号議案に賛成は650票、第3号議案に賛成は649票、第4号議案に賛成は650票であり、各議案はいずれも承認されたことを宣言しました。

次に、第5号議案「役員選任に関する件」について、さる5月14日に開催された第1回理事会で推薦された5名の理事、1名の監事の提案が行われ、全員が満場一致で可決、承認されました。(書面議決661票の内賛成650票)

引き続き、第6号議案「あり方検討プロジェクトチーム設置に関する件」、第7号議案「2020年度事業計画」、第8号議案「2020年度収支予算」について一括して提案を行い、第6号議案から第8号議案まで全議案とも満場一致で可決承認されました。(3議案いずれも、書面議決661票の内賛成650票)

四方議長は、以上をもって2020年度通常総会における全ての議案審議が終了した旨を宣言したのち、謝辞を述べ降壇しました。

午後3時15分、北口末廣副理事長が閉会の挨拶を行い、通常総会は閉会しました。



2020年度 一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 役員名簿

役名	氏名	所属・役職等
理事長	井上 龍生	前 大阪同和・人権問題企業連絡会 理事長
副理事長	北口 末廣	近畿大学人権問題研究所 教授
常務理事	中谷 佳穂	一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター
理事	柄川 忠一	大阪同和・人権問題企業連絡会 理事長
	大北 規句雄	株式会社HRCコンサルティング 社長

役名	氏名	所属・役職等
理事	城垣 守	大阪同和・人権問題企業連絡会 常務理事
	讃岐 富男	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会 常務理事
	藤本 雄一	一般社団法人公正採用人権啓発推進センター 事務長
監事	高山 直樹	阪急電鉄株式会社 人事部部長
	在間 秀和	弁護士

(註) 敬称略・順不同

第13期・14期会員貢献度評価顕彰について

第13期(2019年度)の会員貢献度評価顕彰は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。つきましては、2021年度に第13期・14期(2019年4月1日～2021年3月31日の2年間)を一つの評価期間として評価顕彰を行います。また、会員の皆さまにご記入・ご提出いただいております「会員貢献度評価表」の項目について、主要な評価項目の変更はございませんが、「2020年度通常総会への出席」については、今年度は総会への出席を求めているため、議決書の提出と同点数(3点)とさせていただきます。尚、詳細については2021年3月上旬に会員の皆さまへお送りさせていただきます。

C-STEP事業

人材スキルアップ定期コース7月期「企業見学会」を開催しました。

7/15(水)14:00から人材スキルアップ定期コース7月期「企業見学会」を開催し、スキルアップ受講者のほか、これから就労をめざす方、支援者など合わせて10名が参加しました。

～見学会の様子と感想～

- ①医療法人河北会(寝屋川市)が運営する「通所リハビリテーション(デイケア)」「有料老人ホームスマイル」「リハビリデイ河北(デイサービス)」の施設設備や働いている方の様子を見学させていただきました。
- ②河北病院の職員の方から仕事内容についてお話しいただいたあと、写真を使って様々な業務の紹介をしていただきました。



施設見学の様子

参加者からは、

- ・スタッフのみなさんが、きびきびと働かれているのが、印象的でした。自分も様々な仕事に対応できるよう、スキルアップしていきたいです。
- ・介護の仕事もたくさんの種類があることを知りました。ここで働いている人たちのように誰かのために頑張れる優しい大人になりたいです。
- ・介護職はいろんな方の対応があるので難しそうと感じていましたが、今後希望職種を決めるうえでの選択肢の一つになりました。
- ・これからも見学会などに参加して、自分の中で目標を具体的にしていきたいと思います。などの感想がありました。



介護の仕事について学ぶ様子

見学会を通じて福祉・介護の仕事内容、やりがいなどについて学ぶことができ、就労をめざす方の今後の進路の参考になる機会になりました。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。

◆人材スキルアップ定期コース10月期のご案内◆

日程:2020年10月20日(火)～11月9日(月) ※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって変更する場合があります。

内容:座学(履歴書の書き方、ビジネスマナーなど)4日間/C-STEP会員企業での職場実習 約2週間

受講を希望される方はお住まいの市町村の地域就労支援センターにご相談ください。

会員企業からの職場実習受け入れエントリーを募集しています。関心のある企業・事業所の方、ぜひお問い合わせください。

定着支援 ～就職のその先～

C-STEPでは、就職した方が継続して働き続けられるよう、事業所を巡回し定着支援を行っています。勤務先にお伺いさせていただき職場での仕事の様子を見させていただき、担当者や就職者との面談で課題があれば改善に向けてともに考えていきます。2019年度の3ヶ月定着率は、就職困難者90%(前年度95%)、支援学校等生徒98.8%(前年度100%)となっています。

<知的障がいのあるAさんのケース>

今年4月に食器洗浄・盛付け等の仕事に就職したAさん。働き始めの緊張と慣れない作業に体調を崩しお休みしました。体調が戻った後、Aさんとの面談(カウンセリング)を行い、作業の様子を見せていただき担当者とも話し合い改善しました。その後、元気に働き始めたのですが、コロナ感染拡大防止のため休業に。いつ再開するか、今後どうなるのか、Aさんにとってはとても不安です。こういう時、一度伝えた内容でも確認のために連絡を取って声掛けすることで、その方の気持ちも安定します。この間もC-STEPでは事業所・本人と連絡を取りスムーズに仕事へ復帰することができました。

慣れない職場で自分の気持ちや訊きたいことを発信できず、欠勤・退職にいたるケースも少なくありません。C-STEPでは、いつでも相談できる部署・人・支援機関等が連携し誰もがイキイキとした就労生活が送れ、社会的自立できることを目指しています。

2020年度 雇用問題研究会を開催します。

就職困難者の雇用・就労について会員の皆様とともに考える「雇用問題研究会」を開催します。今回は新型コロナウイルスが働く人々にもたらした問題、支援・対応策についてお話を伺い、求職者・コロナ離職者を支援する方、働く環境が大きく変わった方、従業員や組織を守る立場の方など、それぞれがアフターコロナに向けてできることを考えます。※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって中止または延期する場合があります。

日時 2020年11月11日(水) 14:00～16:00

場所 大阪市立東成区民センター 大ホール

内容 新しい生活様式とこころのケア
～ウィズ/アフターコロナ時代に働き続けていくために～

第1部 現況報告・事例報告

- ①コロナ禍における雇用失業情勢について(大阪労働局)
- ②就労支援の現場から(柏原市 生活困窮者相談支援窓口)

第2部 講演「働く人のメンタルヘルスケア:新しい生活様式の下で」
田中健吾さん(大阪経済大学経営学部 教授)

参加費 無料

定員 申込み先着200名(会場収容定員の1/3)
※開催当日はコロナウイルス感染予防のためマスク着用をお願いします。

申込み 申込書をC-STEP事務局までFAX(06-6910-6033)

締切 2020年11月6日(金)

主催 (一社)おおさか人材雇用開発人権センター

企業の取り組み紹介

障がいのある方の活躍推進をめざして「コラボレイティブセンター(大阪)」を開設しました! サントリーホールディングス株式会社

今春、大阪本社内に「コラボレイティブセンター(大阪)」を開設されたサントリーホールディングス株式会社。センター長の南部有香さんと課長の住友健史さんに、開設の経過や現在の様子、今後の取り組みなどについてお話を伺いました。



【新部署名】コラボレイティブセンター(大阪)
【所在地】サントリー大阪本社ビル3階
【スタッフ数】6名(うち、障がいのある方4名)
【業務内容】PCデータ入力、社内メール便、POP作成・発送、他部署の業務補助 など

◆知的障がいのある方の活躍推進をめざして「コラボレイティブセンター」創設へ

当社ではダイバーシティ経営における重点領域の1つとして「ハンディキャップを超える」を掲げています。2015年からは知的障がいのある方の雇用にも取り組み、さらに戦力として活躍してもらうため、2018年にサントリー独自の枠組みの部署として「コラボレイティブセンター」を創設しました。障がい者雇用を目的とした別会社(特例子会社)を設けず、同じオフィス内で障がいのある社員と一般の社員がともに働いてもらうことで、ダイバーシティ&インクルージョンを推進していきたいと考えています。東京のオフィスでは現在16名のCP(コラボレイティブパートナー※サントリー社内での知的障がいのある社員の呼び方)が活躍し、CPと社員が直接関わることを通じて、組織風土により影響を与えています。

センターではPCデータ入力、社内メール便、POP作成・発送、他部署・支店へ出張しての業務補助など、多岐にわたる部署のサポート業務を行っています。業務依頼システムを稼働し、各営業拠点からの依頼も増加中です。サポートをした部署では27,700時間(2019年実績)創出でき、働き方改革にも貢献しました。次の仕事のモチベーションアップにつながるよう、サポートした部署からのお礼のコメントなどはCPたちと共有することを心がけています。



左から南部センター長、住友課長

★2019年に東京都表彰「障害者雇用エクセレントカンパニー賞」の産業労働局長賞を受賞

評価された内容

- ・障がいのある社員とない社員がともに働く環境を整え、ダイバーシティ&インクルージョンを推進
- ・全社で推進している働き方改革と連動し、活躍の場を広げている
- ・チーム制での業務遂行により、個々の自主性とチームワークを育み定着率100%の職場を実現 など

◆2020年4月、大阪本社内に「コラボレイティブセンター(大阪)」を開設

働き方改革への貢献や組織風土へのよい影響などから、今春、2カ所目の「コラボレイティブセンター」を大阪本社内に開設し、専属スタッフ2名、CP4名の計6名でスタートすることになりました。東京でのノウハウを活かし、業務依頼システムを稼働して、他部署やグループ会社からの多種多様な業務のサポートを行っています。CPの採用にあたってはC-STEPと連携して、支援学校等に通う生徒の職場実習受け入れを行い、採用活動に取り組みました。今後も保護者や支援機関としっかり連携を取りながら、活躍をサポートしていきます。



データ入力をしている様子

◆本年4月の就職者(CP)について

コロナウイルス感染症拡大防止のため、入社後しばらくは在宅勤務がメインで5月下旬からの出勤になりましたが、すぐに慣れ、業務をしっかりとこなしてくれています。今では効率的な業務の分担などについて自分たちで考えてくれ、チームワークもとても良いです。7月から受け入れを開始した支援学校等生徒の実習では、指導にもあたってくれています。多様な業務を経験し、職域を広げてほしいです。

◆今後の取り組み

後輩ができることでよい刺激になり、成長する機会になると思いますので、毎年の採用を続けていきたいです。今後はCPたちがキャリアアップできる仕組みについても検討し、大阪本社だけでなく、他の関西エリアの拠点とも連携を取って事業貢献を図っていきたくと考えています。



CAREER SUPPORT & TALENT ENHANCEMENT PLAZA

編集・発行

一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター (C-STEP)
〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3-8
中央大通 FNビル 14階
tel.06-6940-6600 fax.06-6910-6033
URL(ホームページ) <http://www.c-step.or.jp>